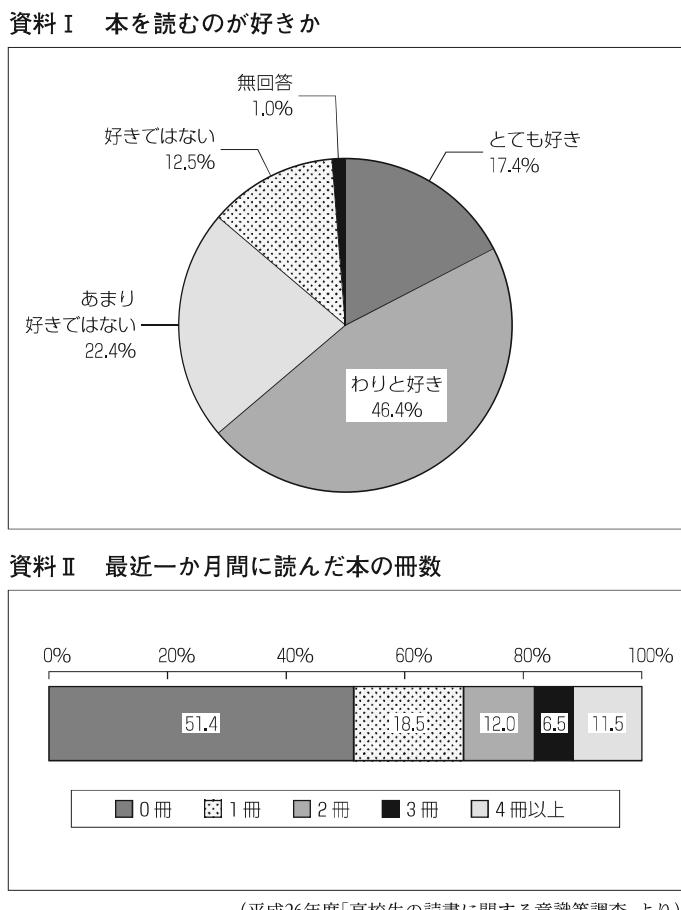


## 論理の実践⑦

# 複数の資料と体験を踏まえて意見を書く

**1** あなたのクラスで、「読書のための時間をもつこと」について意見を発表することになった。次の資料は、そのため用意した、「高校生の読書に関する意識等調査」の結果を示したものである。【条件】に従って、あなたの意見を書きなさい。



**ステップ3** 読み取った事実を考察する  
(3) 読み取った事実から考えたことを述べた次の文章の□に当てはまる言葉を書きなさい。

高校生の六割以上が、本を読むのがいるが、その一方で、高校生の五割以上が一ヶ月間に本を

と答えて

という状況にある。これらのことから、

という高校生が一定数いるのではないかと考えられる。

その理由としては、忙しくて本を読む

他のものにお金がかかつて本を買う

読んでみようと思う本がないなどといった事情があると考えられる。

がない、  
がない、

### ステップ4 意見を決める

(4) 「読書のための時間をもつこと」についてのあなたの意見を、一文で書きなさい。

- ① 二段落構成とし、第一段落には資料I・IIから読み取ったことと、そのことから考えたことを書き、第二段落には、第一段落の内容をもとに、「読書のための時間をもつこと」についての自分の意見を、体験を踏まえて書くこと。

- ③ 題名や氏名は書かず、原稿用紙の正しい使い方に従って書くこと。  
② 二百二十字以上三百六十字以内で書くこと。

[ ]

### ステップ1 作文のテーマを確認する

- (1) この作文では、どんなことを書くのか。次の文の□に当てはまる言葉を書きなさい。

「□」についての□の意見。

### ステップ2 資料から事実を読み取る

- (2) これらの資料から読み取ることを述べた次の各文の□に当てはまる言葉を書きなさい。

#### ① 資料I

高校生へ「□」と質問した結果のグラフ

ラフであり、本を読むのが「とても好き」、「わりと好き」と答えた高校生の割合を合計すると□%となり、高校生の六割以上は本を読むのが好きだということになる。

#### ② 資料II

高校生に

を尋ねた結果を表したグラフであり、いちばん多いのは、読んだ本の冊数は□冊との回答で、五〇%を超えており、高校生の

割以上が一か月間に一冊も本を読んでいないことになる。

### ポイント

- 「読書のための時間をもつ」とは、自分はどう思うのか、「私は、読書のための時間を持つ」とは……だと思つ。」などの形で端的に示す。

### ステップ5-1 理由・根拠を挙げる

- (5) 意見の理由・根拠となる事柄を書きなさい。

### ステップ5-2 具体例を挙げる

- (6) 理由・根拠の具体的な説明となるあなたの体験を書きなさい。

### ポイント

- 具体例となる体験は、理由・根拠の具体的な説明として説得力をもつものになるように、意見、理由・根拠とセットで考える。

ステップ6

読み取った事実と考察、意見と理由・根拠、具体例を整理する

- (7) 次の思考整理シートを完成させなさい。

思考整理シート

☆第一段落

資料Iからは、

ことがわかる。

資料IIからは、

ことがわかる。

←これらのことから

考 察

→  
と考えられる。

意 見

私は、

→  
ステップ4

なぜなら

理由・根拠

→  
ステップ5-1

具体例

→  
ステップ5-2

\*最後にもう一度、結論としての意見を述べて、まとめとしてもよい。

## ステップ7 思考整理シートをもとに作文を書く

(8) 思考整理シートをもとに、作文を書きなさい。

260 220

作文

- ✓ 句読点や閉じるかぎかっこが行頭にくる場合は、前の行末に入れているか。
  - ✓ 数字は漢数字を使っているか。
  - ✓ 伝わりやすく、説得力のある作文が書かれているか。
  - ✓ 複数の資料から事実を客観的に読み取れてい るか。
  - ✓ テーマについて具体的な体験を踏まえて意見 を書いているか。

形式

内  
容

Check

見直しチェックポイント

- テーマ、条件に合った内容か。
  - 資料から読み取ったことが書けているか。
  - 自分の意見がはつきりと書けているか。
  - 意見の理由、根拠が筋道立てて説明できているか。